

平成 29 年度事業報告書  
(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人にじいろクレヨン

## 1 事業の成果

この法人は、体を使ったレクリエーション活動・文化的レクリエーション活動および子どもの健全育成に関する講座・ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力を通じ、子どもたちの健全育成を行うことを目的としている。

### (1) 体を使ったレクリエーション活動の企画・実施・運営

居場所作り「にじいろクレヨン活動」として、仮設住宅および復興公営住宅地域の集会所を定期的に訪問し、体を使ったレクリエーション活動などを通じて、子どもが安心・安全に過ごせる居場所、地域の子どもの見守るコミュニティ作り活動を行った。仮設住宅では県内 2 ヶ所でのべ 3 回の活動を行い、24 人が活動に参加した。復興公営住宅では他の子ども支援団体と共同で屋外型遊び場プレーパークとアートワークショップやお茶会等をプログラムに取り入れた複合型の遊び場、居場所を提供した。県内 5 か所、のべ 111 回の活動を行い、活動に参加した人数はのべ 3179 人となった。また地元の市民や学生、他の都道府県からのボランティア 134 人の受け入れを行った。この事業は次年度も継続していくこととしている。

### (2) 文化的レクリエーション活動の企画・実施・運営

お絵描き教室を開催し、アートや食育、レクリエーションを取り入れたプログラムを実施し、生徒ひとりひとりに寄り添ってのびのびと創作活動に励むことのできる教室運営を行った。教室の開催場所は、石巻市あけぼの集会場と大崎市鹿島台公民館、矢本教室、のくのくハウスの 4 ヶ所及び石巻市内の保育園 2 カ所で出張お絵描き教室を、合わせて 168 回開催し、子どものべ 1350 人、大人のべ 430 人が参加した。陶芸教室は、144 回開催し、子どものべ 145 人、大人のべ 290 人が参加した。また、生徒の作品展を 1 回開催し、のべ 320 人が参加した。

### (3) 子どもの健全育成に関する講座・ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力

①地域子育て支援拠点事業として「にじいろひろば」を石巻市の委託と国の「心の復興事業」の助成を受けて開催した。0 歳～2 歳の乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行う子育て支援拠点施設の運営を行った。週 5 日、全 221 日開催した。月 1 回以上の講座やアートを活用した創作イベントや季節のイベントを行った。子どものべ 1,808 人、大人のべ 1,713 人が利用した。この事業は次年度も継続していくこととしている。

②児童館「のくのくハウス」を継続して開設した。子どもたちがのびのびと自分を表現でき地域とつながりながら健やかに成長する場を開設し、子どもたちに遊びを通して育ちを

促進する子育て支援拠点施設の運営を行った。0歳から18歳までの子ども及び児童と保護者、地域住民の集う場所として、安心・安全に過ごせる居場所を提供すると共に、子どもたちの自主性を生かす子ども会議やイベントの企画・運営を行った。週6日、298日開催し、子どものべ2,695人、大人のべ1,202人が利用した。また、放課後児童クラブを開設し、週5日、251日開催した。地域住民が主体となり共同して石巻市の放課後子ども教室を年間10回開催し176人が参加した。中学生以上を対象としたご飯会は年間6回開催し、のべ79人が参加した。この事業は次年度も継続していくこととしている。

③講演会、研修会の開催、参加。

子ども支援に必要なテーマを検討し、他の子ども支援団体や行政等の専門機関との連携をとり講座・ワークショップへ積極的に参加した。講演会活動を全国各地で「石巻における継続的な子ども支援の必要性」、「地域ぐるみで子どもを育てる」などの内容で開催し、のべ560人が来場した。また、団体内で独自の研修会を26回開催し、現状の活動や子どもを取り巻く社会課題の事例を元にスタッフのスキルアップを図った。この事業は次年度も継続していくこととしている。

④にじいろまつりの開催

東日本大震災直後から始まったにじいろクレヨンの活動が6年目を迎え、感謝を伝える機会と子ども参加促進の機会として9月に「にじいろまつり」を開催した。のくのくハウスを会場に73人が参加した。この事業は次年度も継続していくこととしている。

2 事業に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数(のべ)
体を使ったレクリエーション活動の企画・実施・運営	【居場所作り】 にじいろクレヨン活動 仮設住宅及び復興公営住宅の集会所を訪問し造形や遊びを通して子どもと地域住民が交流する場作りを行った。石巻市内で子ども支援を行っている他団体と協働し、子どもた	【仮設住宅】 全3回 火・金	石巻市・東松島市・仙台市の仮設住宅および地域の集会所	【仮設住宅】 3名	被災地域の仮設住宅および近隣に住む子どもとその保護者、近隣住民24名
		【復興住宅】 月5ヶ所		【復興住宅】 7名	被災地域の復興住宅および近隣に住む子

	<p>ちが楽しみながら屋外で身体を使って発散できる遊びの環境作りを行った。</p> <p>子どもを軸とした子どもを見守るコミュニティ作り活動を行った。</p>	全 111 回		合計 9 名	<p>子どもとその保護者、近隣住民 3,179 名</p> <p>合計 3,203 名</p>
<p>文化的レクリエーション活動の企画・実施・運営</p>	<p><b>【お絵描き教室】</b> <b>お絵描き教室の開催</b></p> <p>アートや食育、レクリエーションを取り入れたプログラムを実施し、生徒ひとりひとりに寄り添ってのびのびと創作活動に励むことのできる教室の運営および生徒作品展を行った。</p>	<p><b>【教室】</b> あけぼの・のくのく・保育園教室 全 168 回</p> <p>陶芸教室 全 144 回</p> <p><b>【作品展】</b> 全 1 回 5 日</p>	<p>あけぼの集会所、鹿島台公民館、矢本、のくのくハウス、ブルーバードインターナショナルプリスクール、インターナショナルプリスクールピノッチオ</p> <p>ナリサワギャラリー</p>	<p>教室 9 名</p> <p>作品展 4 名</p>	<p>子ども会員およびその保護者、近隣住民</p> <p>教室 子ども 1495 名 大人 720 名 小計 2215 名</p> <p>作品展 320 点</p>

<p>子どもの健全育成に関する講座・ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力</p>	<p><b>【子育て支援拠点】にじいろひろばの運営</b> 石巻市内で、乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援をおこなう子育て支援拠点施設の運営を行った。</p>	<p>週5回 月、火、水、木、金  全221回</p>	<p>にじいろひろば</p>	<p>8名</p>	<p>石巻市、東松島市、登米市、仙台市に住む0～2歳児の子育て親子  子ども 1,808名 大人 1,713名  合計3,521名</p>
	<p><b>【児童館】のくのくハウスの運営</b> 石巻市内で、子どもたちがのびのびと自分を表現でき地域とつながりながら健やかに成長する場を開設し、子どもたちに遊びを通して育ちを促進する子育て支援拠点施設の運営を行った。</p>	<p>週6日 月、火、水、木、金、土 全298回  放課後児童クラブ 月、火、水、木、金 全250回  放課後子ども教室 全10回  ご飯会 全6回</p>	<p>のくのくハウス</p>	<p>9名</p>	<p>子ども会員およびその保護者、近隣住民  子ども 2,695名 保護者 1,000名 その他地域住民等 569名  合計 6,105名</p>
	<p><b>【講演会】講演会、他団体とのネットワーク作りのためのミーティングやワークショップの</b></p>	<p>全7回</p>	<p>遊学館、石巻市内小学校、東松島市内など</p>	<p>3名</p>	<p>約660名</p>

	<p><b>開催</b> 講演会タイトル 「石巻における 継続的な子ども 支援の必要性」、 「地域ぐるみで 子どもを育てる」</p>				
	<p><b>【研修会】</b> 子どもを軸とし たコミュニティ 作り及び子育て 支援に必要な研 修、講座・ワーク ショップ・ネット ワーク作りの企 画・運営を行っ た。</p>	全 26 回	のくのかハ ウス	8 名	約 400 名
	<p><b>【にじいろまつ り】開催</b> 当団体の活動が 6 目を迎え、これま でを振り返り、感 謝を伝える機会、 子ども参加促進 の機会として行 った。</p>	全 1 回	のくのかハ ウス	8 名	約 73 名